



Think Automation and beyond...

# 2025年3月期 第1四半期 (2024年4月1日～2024年6月30日) 決算説明資料

2024年8月2日  
IDEC株式会社  
証券コード：6652

IDEC株式会社 2025年3月期 第1四半期決算説明会を  
始めさせていただきます。

## 売上

- 売上高 160億円 (前年同期比  $\Delta$ 12.2%)
  - 国内外における流通在庫の影響により、売上は減少
  - 前年同期比で売上高は減少したものの、受注高は4Q並み

## 利益

- 営業利益 3億円 (前年同期比  $\Delta$ 83.6%)
  - 経常利益 5億円 (前年同期比  $\Delta$ 75.6%)
  - 四半期純利益<sup>※</sup> 3億円 (前年同期比  $\Delta$ 79.5%)
- ※親会社株主に帰属する四半期純利益
- 売上高の減少の影響などにより、利益も減少

第1四半期の業績は、前期から続いている国内外での流通在庫調整の影響により、売上高は前年同期比12.2%減の、160億円となりました。

また減収の影響が大きく、営業利益は前年同期比83.6%減の3億円となりました。

# 連結業績概要 <連結損益計算書> - 1



(単位：百万円) ※百万円未満切り捨て	2024年3月期 1Q		2025年3月期 1Q		
	実績	対売上比	実績	対売上比	前年同期比
売上高	18,180	100.0%	<b>15,962</b>	<b>100.0%</b>	△12.2%
売上総利益	7,900	43.5%	<b>6,861</b>	<b>43.0%</b>	△13.2%
販売費及び一般管理費	6,235	34.3%	<b>6,589</b>	<b>41.3%</b>	+ 5.7%
営業利益	1,665	9.2%	<b>272</b>	<b>1.7%</b>	△83.6%
経常利益	2,022	11.1%	<b>494</b>	<b>3.1%</b>	△75.6%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	1,467	8.1%	<b>300</b>	<b>1.9%</b>	△79.5%
1株当たり四半期純利益 (潜在株式調整前)	50.16円	—	<b>10.21円</b>	—	△39.95円
米ドル平均レート (円)	137.49円		<b>155.86円</b>		+18.37円
ユーロ平均レート (円)	149.58円		<b>167.84円</b>		+18.26円
人民元平均レート (円)	19.56円		<b>21.47円</b>		+ 1.91円

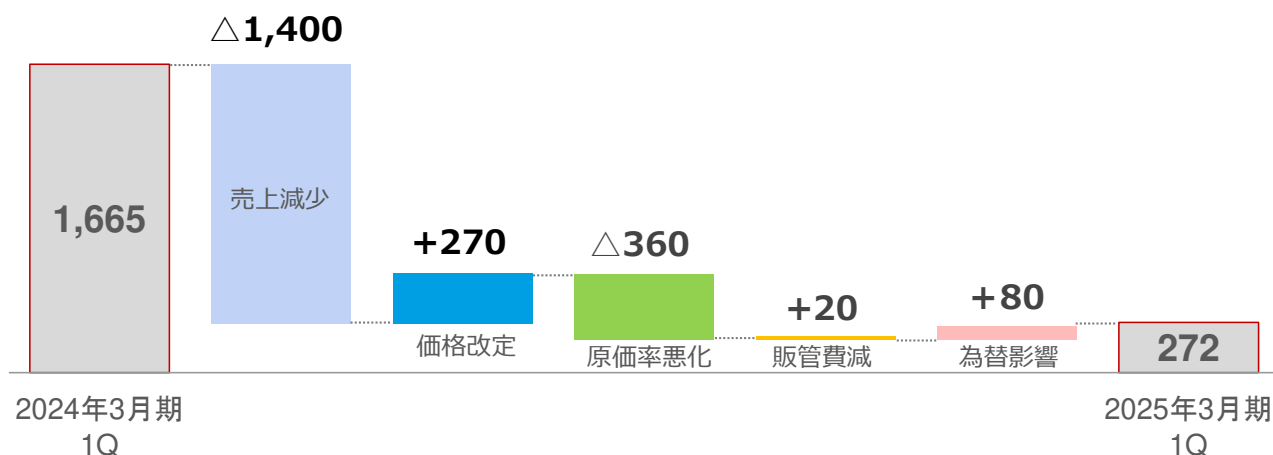
Copyright IDEC Corporation. All rights reserved.

3

業績概要はご覧の通りですが、在庫の影響による売上減少に加え、労務費は減少したものの、為替の影響により販売管理費が増加したことなどにより、営業利益率は1.7%となりました。

価格改定によるプラス効果があったものの、収益性の高い日本の売上減少や原価率の悪化の影響などにより、営業利益は前年同期比で**約14億円減少**

(単位：百万円) ※百万円未満切捨て



こちらは営業利益の変動要因図ですが、製品価格改定効果があったものの、収益性の高い日本の売上減少や、原価率の悪化などにより、前年同期比で約14億円減少しました。

## 連結業績概要 <連結損益計算書> -2



(単位：百万円) ※百万円未満切り捨て	2024年3月期								2025年3月期		
	1Q (4-6月)		2Q (7-9月)		3Q (10-12月)		4Q (1-3月)		1Q (4-6月)		前年 同期比
	実績	売上比	実績	売上比	実績	売上比	実績	売上比	実績	売上比	
売上高	18,180	100.0%	19,620	100.0%	16,540	100.0%	18,370	100.0%	<b>15,962</b>	<b>100.0%</b>	<b>△12.2%</b>
売上総利益	7,900	43.5%	8,553	43.6%	6,848	41.4%	7,716	42.0%	<b>6,861</b>	<b>43.0%</b>	<b>△13.2%</b>
販売費及び 一般管理費	6,235	34.3%	6,172	31.5%	6,244	37.8%	6,090	33.2%	<b>6,589</b>	<b>41.3%</b>	<b>+ 5.7%</b>
営業利益	1,665	9.2%	2,381	12.1%	603	3.6%	1,625	8.9%	<b>272</b>	<b>1.7%</b>	<b>△83.6%</b>
経常利益	2,022	11.1%	2,507	12.8%	532	3.2%	1,858	10.1%	<b>494</b>	<b>3.1%</b>	<b>△75.6%</b>
親会社株主に帰属する 四半期純利益	1,467	8.1%	1,706	8.7%	263	1.6%	969	5.3%	<b>300</b>	<b>1.9%</b>	<b>△79.5%</b>
1株当たり四半期純利益 (潜在株式調整前)	50.16円	-	58.14円	-	8.86円	-	32.94円	-	<b>10.21円</b>	-	<b>△39.95円</b>

四半期別の推移はご覧の通りです。

## 仕向地別売上状況



(単位：百万円) ※百万円未満切捨て (構成比)	2024年3月期 1Q	2025年3月期 1Q	前年 同期比
日本	6,681 (36.8%)	4,937 (30.9%)	△26.1%
海外	11,498 (63.2%)	11,025 (69.1%)	△ 4.1%
米州	3,707 (20.4%)	3,572 (22.4%)	△3.6%
EMEA (欧州、中東、アフリカ)	3,776 (20.7%)	3,977 (24.9%)	+ 5.3%
アジア・ パシフィック	4,015 (22.1%)	3,474 (21.8%)	△13.5%
合計	18,180 (100.0%)	15,962 (100.0%)	△12.2%

**日本** 前年同期比 **△26.1%**

- 主要産業での足踏み感や、流通在庫調整局面の影響もあり、売上は減少

**海外** 前年同期比 **△ 4.1%**

- 米州の流通在庫は一定水準に落ち着いたものの、前年同期比では減少
- EMEAの現地通貨ベースの売上は減少したものの、円安の影響により円換算では増加
- アジア・パシフィックは、中国経済の景気減速の影響で売上は減少

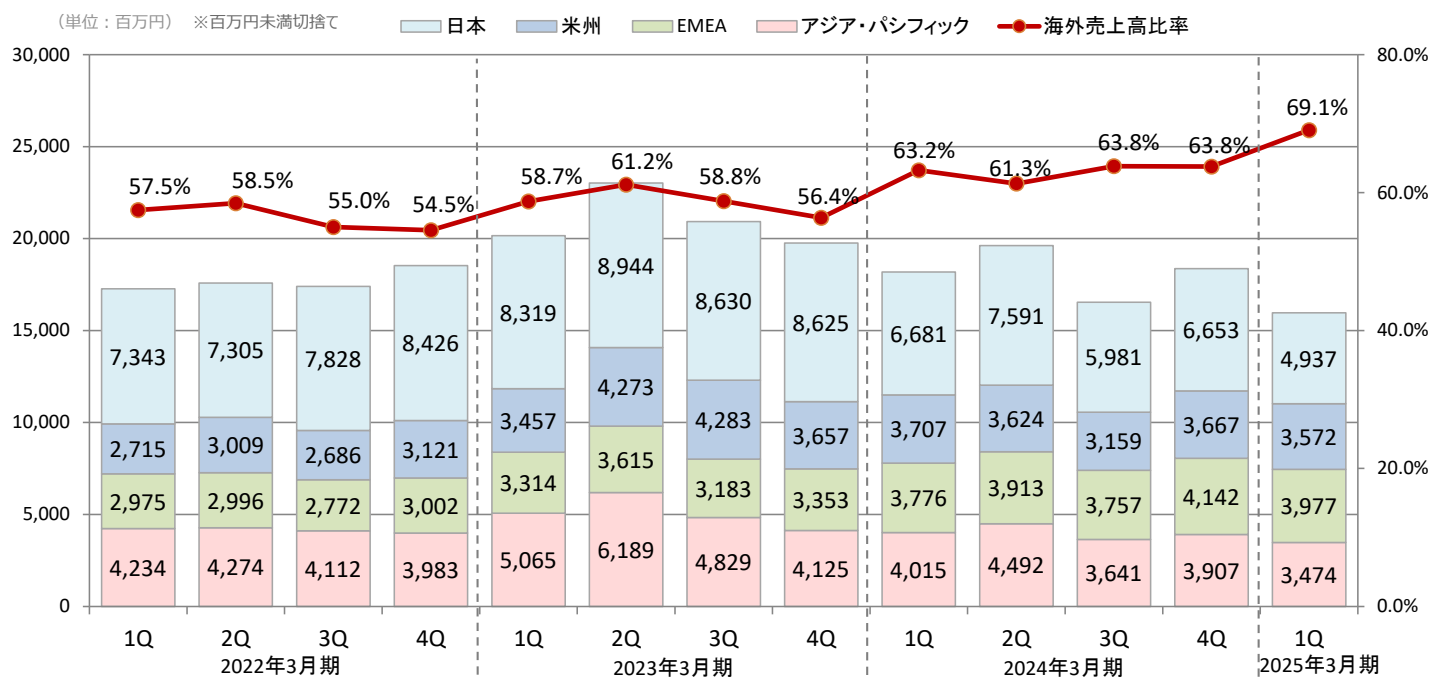
仕向地別では、日本はロボットや工作機械などの主要産業での足踏み感に加え、流通在庫やエンドユーザー在庫の調整局面の影響により、売上が減少いたしました。

米州では、前期末に過剰であった流通在庫が一定水準に落ち着き、受注も回復傾向となったものの、受注残の消化が進んだことで、売上は減少いたしました。

EMEAは、欧州市場における主要産業の需要低迷により、現地通貨ベースで売上高が減少いたしました。為替の影響で円換算では増加いたしました。

アジア・パシフィックは、引き続き中国経済の景気減速の影響を受けており、減収となりました。

# 仕向地別売上状況 (四半期推移)



Copyright IDEC Corporation. All rights reserved.

7

四半期別推移では、日本の売上が減少した結果、第1四半期の海外売上高比率は69.1%となりました。

# 製品別売上状況



(単位：百万円) ※百万円未満切捨て (構成比)	2024年3月期 1Q	2025年3月期 1Q	前年 同期比
HMI事業	8,594 (47.3%)	<b>8,149</b> <b>(51.1%)</b>	△ 5.2%
インダストリアルコンポーネツ事業	2,948 (16.2%)	<b>2,533</b> <b>(15.9%)</b>	△14.1%
オートメーション&センシング事業	2,341 (12.9%)	<b>2,071</b> <b>(13.0%)</b>	△11.5%
安全・防爆事業	3,104 (17.1%)	<b>2,350</b> <b>(14.7%)</b>	△24.3%
システム	911 (5.0%)	<b>714</b> <b>(4.5%)</b>	△21.6%
その他	280 (1.5%)	<b>142</b> <b>(0.8%)</b>	△49.1%
合計	18,180 (100.0%)	<b>15,962</b> <b>(100.0%)</b>	△12.2%

## HMI事業

スイッチやプログラマブル表示器が、日本、米州、アジア・パシフィックでの流通在庫調整の影響などにより減少

## インダストリアルコンポーネツ事業

主力の中国市場において制御用リレーなどの売上が減少

## オートメーション&センシング事業

プログラマブルコントローラの受注残が減少したこともあり、売上は減少

## 安全・防爆事業

日本や中国市場を中心とした流通在庫調整や、半導体・工作機械など主要産業の需要が減少した影響で、安全関連機器が減少

## システム

アジア・パシフィックで、半導体製造設備・物流関連設備などの制御盤の売上が減少

製品別売上高については、グローバルでの流通在庫の影響により、各事業で売上高は減少いたしました。

オートメーション&センシング事業については、前期に電子部品の納期問題が改善されたため、プログラマブルコントローラが好調に推移いたしました。が、今期は受注残が減少したこともあり、売上は減少しました。

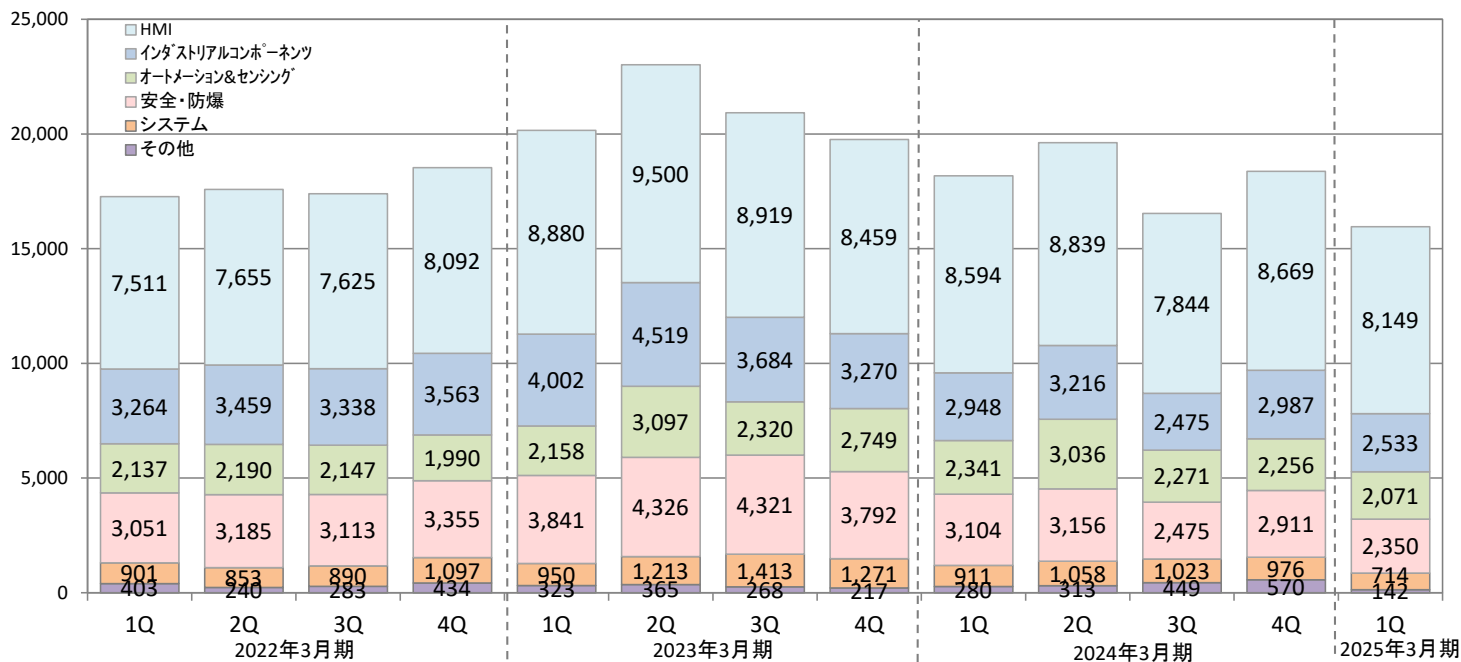
安全・防爆事業については、日本や中国市場を中心に、半導体や工作機械などの主要産業の需要が減少したため、安全関連機器の売上が減少いたしました。



# 製品別売上状況 (四半期推移)



(単位：百万円) ※百万円未満切捨て



Copyright IDEC Corporation. All rights reserved.

四半期別の推移は、ご覧の通りです。

単位：百万円 ※百万円未満切捨て	2024年3月期 1Q		2025年3月期 1Q			
	受注高	受注残高	受注高	前年同期比	受注残高	前年同期比
日本	6,550	12,329	<b>6,551</b>	+ 0.0%	<b>7,013</b>	△43.1%
米州	2,681	3,863	<b>3,403</b>	+26.9%	<b>2,750</b>	△28.8%
EMEA (欧州、中東、アフリカ)	4,164	9,947	<b>4,136</b>	△ 0.7%	<b>8,038</b>	△19.2%
アジア・ パシフィック	2,257	3,392	<b>2,907</b>	+28.8%	<b>3,205</b>	△ 5.5%
合計	15,655	29,532	<b>16,999</b>	+ 8.6%	<b>21,008</b>	△28.9%

受注高については、流通在庫の影響はまだ残っているものの、米州など一部地域は流通在庫が一定水準に落ち着いていることもあり、前年同期比で各地域で横ばい、もしくは増加傾向となっております。

## 受注状況（四半期推移）



- 日本、米州は、流通在庫や市場環境などの影響から4Q比で横ばい傾向
- EMEAは円安の影響もあり1Qは比較的好調な一方、2Qは欧州の市場環境の影響もあり、不透明感がある

単位：百万円 ※百万円未満切捨て	2024年3期								2025年3期	
	1Q（4月～6月）		2Q（7月～9月）		3Q（10月～12月）		4Q（1月～3月）		1Q（4月～6月）	
	受注高	受注残高	受注高	受注残高	受注高	受注残高	受注高	受注残高	受注高	受注残高
日本	6,550	12,329	5,757	9,140	4,986	7,012	6,631	6,135	6,551	7,013
米州	2,681	3,863	3,067	3,233	2,555	2,771	3,560	2,853	3,403	2,750
EMEA (欧州、中東、アフリカ)	4,164	9,947	3,237	9,340	3,245	8,641	3,617	7,993	4,136	8,038
アジア・ パシフィック	2,257	3,392	2,745	3,005	2,516	3,058	3,046	2,988	2,907	3,205
合計	15,655	29,532	14,808	24,720	13,305	21,485	16,856	19,971	16,999	21,008

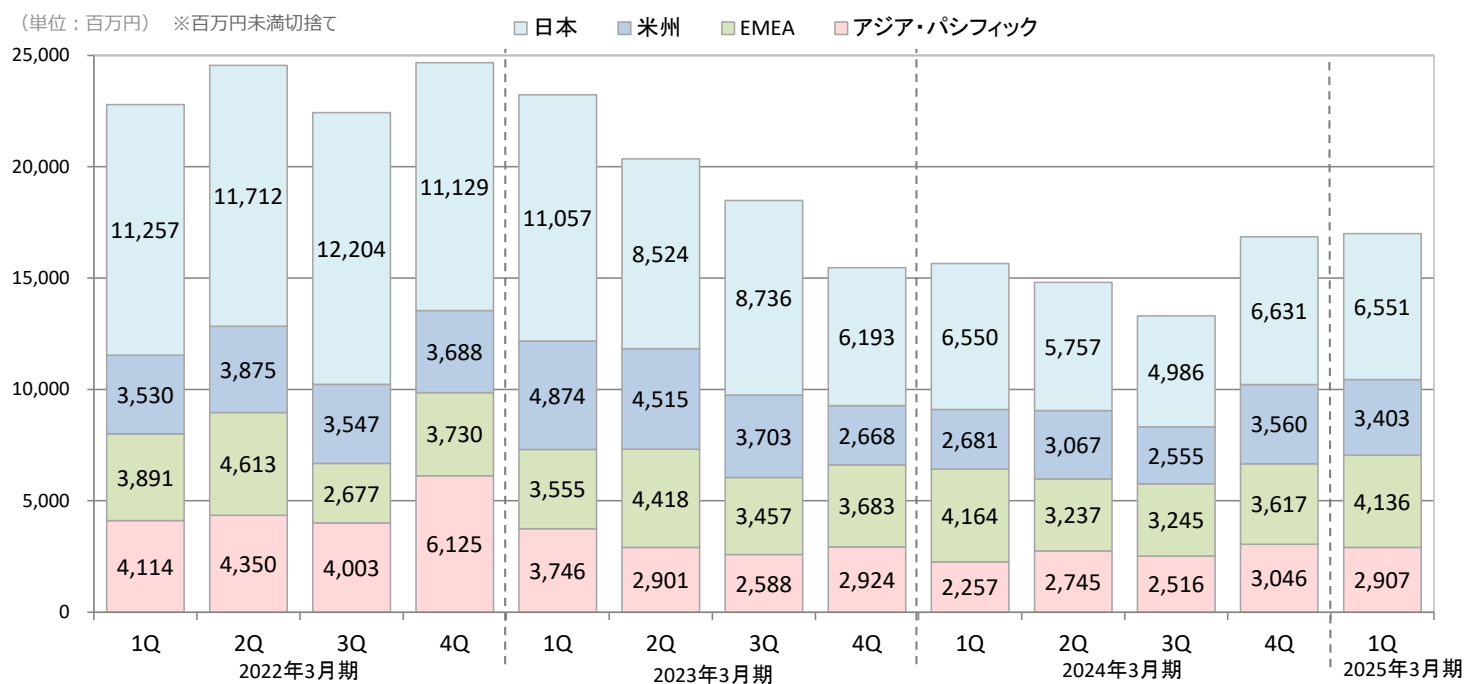
Copyright IDEC Corporation. All rights reserved.

11

四半期別の推移はご覧の通りですが、受注高は前期の第3四半期を底として、徐々に回復傾向となっており、日本と米州は第4四半期比で横ばい傾向となっております。

EMEAについては、第1四半期比較的好調だった一方、第2四半期は欧州の市場環境の影響もあり、不透明感がある状況です。

# 受注状況（四半期推移）



Copyright IDEC Corporation. All rights reserved.

12

受注高の推移はご覧の通りで、全体としては回復傾向となっておりますが、まだ本格的な回復フェーズには入っておりません。

## 連結業績概要 <連結貸借対照表>



### 資産のポイント

- 売上債権が減少した一方、固定資産や棚卸資産、現金及び預金が増加したことなどにより、総資産は前期末比9.5億円増加

### 負債のポイント

- 借入金が減少したことなどにより、負債は前期末比5.1億円減少

### 純資産のポイント

- 利益剰余金が減少したものの、為替換算調整勘定の増加などにより、純資産は前期末比14.6億円増加

(単位：百万円) ※百万円未満切捨て	2024年3月期 (前会計年度)	2025年3月期 (6月末)	前会計年度末比 増減
流動資産	54,921	54,541	△ 379
固定資産	52,217	53,549	+1,332
流動負債	23,830	21,533	△2,297
固定負債	17,301	19,088	+1,787
純資産	66,006	67,469	+1,462
総資産	107,138	108,091	+ 952
自己資本比率	61.2%	62.0%	+0.8%

Copyright IDEC Corporation. All rights reserved.

13

資産については、固定資産や棚卸資産などの増加や借入金の減少したことで、総資産は前期末比で約9.5億円増加いたしました。

自己資本比率は前期末比で0.8%上がり、62%となりました。

## 営業活動によるCF

- 売上債権及び契約資産や減価償却費の減少などにより約40.4億円

## 投資活動によるCF

- 有形固定資産の取得などにより約△3.5億円

## 財務活動によるCF

- 借入金の返済や配当金などの支出により約△33.1億円

(単位：百万円) ※百万円未満切捨て	2024年3月期 1Q	2025年3月期 1Q	前期比増減
営業活動によるキャッシュ・フロー	△414	4,036	+4,451
投資活動によるキャッシュ・フロー	78	△347	△ 425
フリー・キャッシュ・フロー (FCF)	△336	3,689	+4,026
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,327	△3,309	△ 982
現金及び現金同等物の期末残高	12,969	15,957	+2,987
設備投資額	928	854	△74
減価償却費	946	1,019	+73

営業活動によるキャッシュ・フローについては、売上債権及び契約資産の減少などにより、約40.4億円となりました。

## 2025年3月期の業績予想

続いて、今期の業績予想についてですが、

## 2025年3月期 通期業績予想



(単位：百万円) ※百万円未満切り捨て	2024年3月期		2025年3月期		
	実績	対売上比	予想	対売上比	前期比
売上高	72,711	100.0%	71,700	100.0%	△ 1.4%
売上総利益	31,019	42.7%	31,200	43.5%	+ 0.6%
販売費及び一般管理費	24,743	34.0%	26,000	36.3%	+ 5.1%
営業利益	6,276	8.6%	5,200	7.3%	△17.1%
経常利益	6,920	9.5%	5,200	7.3%	△24.9%
親会社株主に帰属する 当期純利益	4,407	6.1%	4,000	5.6%	△ 9.2%
1株当たり当期純利益 (潜在株式調整前)	150.10円	—	136.23円	—	△13.87円
米ドル平均レート (円)	144.59円		148.00円		+3.41円
ユーロ平均レート (円)	156.74円		160.00円		+3.26円
人民元平均レート (円)	20.13円		20.50円		+0.37円

5月に発表した業績予想は変更しておりません。



## 2025年3月期 通期業績予想



(単位：百万円) ※百万円未満切捨て	2024年3月期	2025年3月期	
	実績	予想	前期比
HMI事業	33,948	34,700	+ 2.2%
インダストリアルコンポーネツ事業	11,629	11,000	△ 5.4%
オートメーション事業&センシング事業	9,904	9,900	△ 0.0%
安全・防爆事業	11,647	11,300	△ 3.0%
システム	3,969	3,200	△19.4%
その他	1,612	1,600	△ 0.8%
合 計	72,711	71,700	△ 1.4%
国内売上高	26,907	25,200	△ 6.3%
海外売上高	45,804	46,500	+ 1.5%
(海外比率)	(63.0%)	(64.9%)	△ 1.4%

製品別、地域別の予想も同様に変更なしとしております。

## 統合報告書（IDEC Report）の ご紹介

続きまして、7月末に統合報告書を開示いたしましたので、ご紹介いたします。

- 2024年版の統合報告書（IDEC Report）を発行
- 事業や業績に関する説明だけでなく、ESG など非財務に関する情報も充実

(※詳細は下記よりご覧ください)

<https://jp.idec.com/idec-jp/ja/JPY/integrated-report-2024>



CEO Message



特集



取締役インタビュー

IDECでは、環境に配慮した取り組みの一環として、統合報告書をPDFでのみ開示しております。

事業や業績に関する説明だけでなく、ESGをはじめとする非財務情報を体系的にまとめることで、企業価値向上のプロセスや、持続可能な社会の実現に向けた取り組みを、幅広いステークホルダーの皆さまに統合的にご理解いただけるよう編集しております。

## Contents

### 01

#### イントロダクション

- 1 パーパス
- 2 At a Glance
- 3 IDECの歴史

### 02

#### メッセージ



#### 6 CEO Message

- 9 **特 集**  
安全・安心・ウェルビーイングの  
実現に向けて

### 03

#### 価値創造ストーリー



- 14 価値創造プロセス
- 15 IDECが大切にしている6つの資本
- 16 IDECの強み
- 18 ステークホルダーへの提供価値

### 04

#### ビジョン実現に向けた取り組み



- 20 長期ビジョン
- 21 マテリアリティ
- 22 サステナビリティ目標と進捗状況
- 23 サステナビリティ推進方針・体制
- 24 中期経営計画
- 25 財務戦略
- 27 製造・DX戦略
- 28 知的資本戦略

### 05

#### 事業戦略



- 31 グローバルマーケティング・製品戦略
- 33 各事業の実績
- 34 HMI (Human-Machine Interface) 事業
- 36 安全・防衛事業
- 37 インダストリアルコンポーネッツ事業
- 38 オートメーション&センシング事業
- 39 システム事業

### 06

#### 価値創造を支える基盤



- ガバナンス**
- 41 取締役インタビュー
- 43 ガバナンス
- 48 役員紹介
- 50 社外取締役の活動
- 51 コンプライアンス
- 53 リスクマネジメント

- 環境**
- 55 環境の取り組み

- 社会**
- 60 人的資本
- 63 人権の尊重
- 66 サプライチェーンマネジメント

### 07

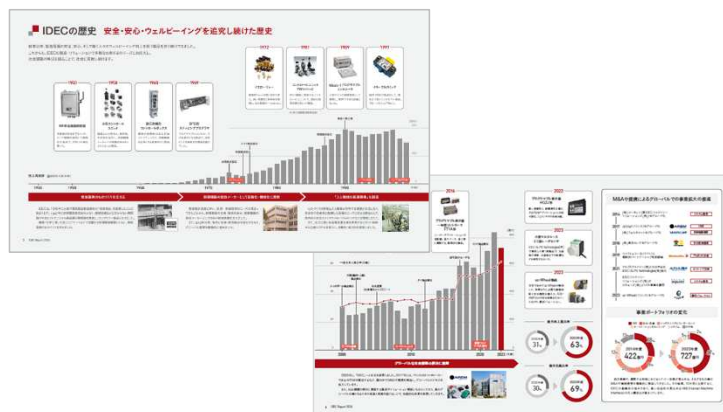
#### データ・会社概要



- 69 非財務データ
- 70 11年間の主要財務データ推移
- 71 財務データ
- 74 会社概要

こちらが、統合報告書のコンテンツ内容となります。

- IDECの概要を知っていただけるよう、パーパス、At a Glance、歴史を冒頭に掲載
- 歴史ページでは、売上高、海外比率の推移や、最近のM&A・提携の状況をまとめてご紹介



イントロダクションパートでは、まずIDECの概要を知っていただけるように、At a Glanceや歴史などをご紹介しております。

## ■ IDECグループのパーパスである「安心・安全・ウェルビーイングの実現」に向けた各種取り組みを掲載

### 【掲載コンテンツ】

- 社員の健康維持増進・安全文化の構築
- Vision Zero活動の推進
- 安全人材の育成
- ウェルビーイングサーベイの実施
- 協調安全（Safety2.0）の推進
- 社会課題解決に貢献する製品・ソリューション



今回の特集企画として、IDECグループのパーパスである「安心・安全・ウェルビーイングの実現」に向けた、社内外におけるさまざまな取り組みを取り上げて掲載しております。



- 環境の取り組みを網羅的に紹介
- IFRSサステナビリティ開示基準に沿った情報開示や、Scope1-3の推移なども掲載

### 環境の取り組み

**持続可能な社会の実現**

環境への取り組みは、人々の健康や生活の質を向上させ、社会全体の持続可能な発展に貢献することを目指しています。当社は、環境保護の観点から、資源の有効な利用、廃棄物の削減、温室効果ガスの削減に取り組んでいます。また、環境保護の観点から、資源の有効な利用、廃棄物の削減、温室効果ガスの削減に取り組んでいます。

### 環境に配慮した製品開発

環境に配慮した製品を開発し、環境負荷の低減に貢献しています。当社は、環境に配慮した製品を開発し、環境負荷の低減に貢献しています。

### 環境配慮型製品の事例

当社の環境配慮型製品の一例として、省エネルギー型LED照明器具を挙げます。この製品は、従来の照明器具に比べて消費電力が大幅に削減されており、環境負荷の低減に大きく貢献しています。

### IFRSサステナビリティ開示基準に沿った情報開示

当社は、IFRSサステナビリティ開示基準に沿った情報開示を行っています。当社は、IFRSサステナビリティ開示基準に沿った情報開示を行っています。

### 環境と目標

当社は、環境保護の観点から、資源の有効な利用、廃棄物の削減、温室効果ガスの削減に取り組んでいます。当社は、環境保護の観点から、資源の有効な利用、廃棄物の削減、温室効果ガスの削減に取り組んでいます。

### 環境と目標 (続)

当社は、環境保護の観点から、資源の有効な利用、廃棄物の削減、温室効果ガスの削減に取り組んでいます。当社は、環境保護の観点から、資源の有効な利用、廃棄物の削減、温室効果ガスの削減に取り組んでいます。

環境ページでは、カーボンニュートラルに向けた活動に加え、IFRSサステナビリティ開示基準に沿った情報開示を行っております。



- 新たに「人権の尊重」と、「サプライチェーンマネジメント」に関するページを掲載
- 人権ページでは、人権対応プロセスや、人権影響評価を初めて記載
- サプライチェーンマネジメントでは、CSRセルフアセスメントや、鉱物調達調査などについてご紹介

今回、社会コンテンツとして、新たに「人権の尊重」と、「サプライチェーンマネジメント」に関するページを設けました。人権のページでは、人権対応プロセスや、人権影響評価を初めて記載し、サプライチェーンマネジメントでは、CSRセルフアセスメントや鉱物調達調査などについてご紹介しております。

- 継続的な取り組みにより、各種インデックスへの組み入れを実現
  - FTSEのインデックスに2022年から3年連続で選定
  - 2024年に、Morningstar日本株式ジェンダー・ダイバーシティ・ティルト指数（除くREIT）の構成銘柄に、5段階の中で最高位評価となる「グループ1」として選定
  - S&P/JPXカーボン・エフィシエント指数に加え、JPX日経中小型株指数にも選定



FTSE Blossom  
Japan Index



FTSE Blossom  
Japan Sector  
Relative Index



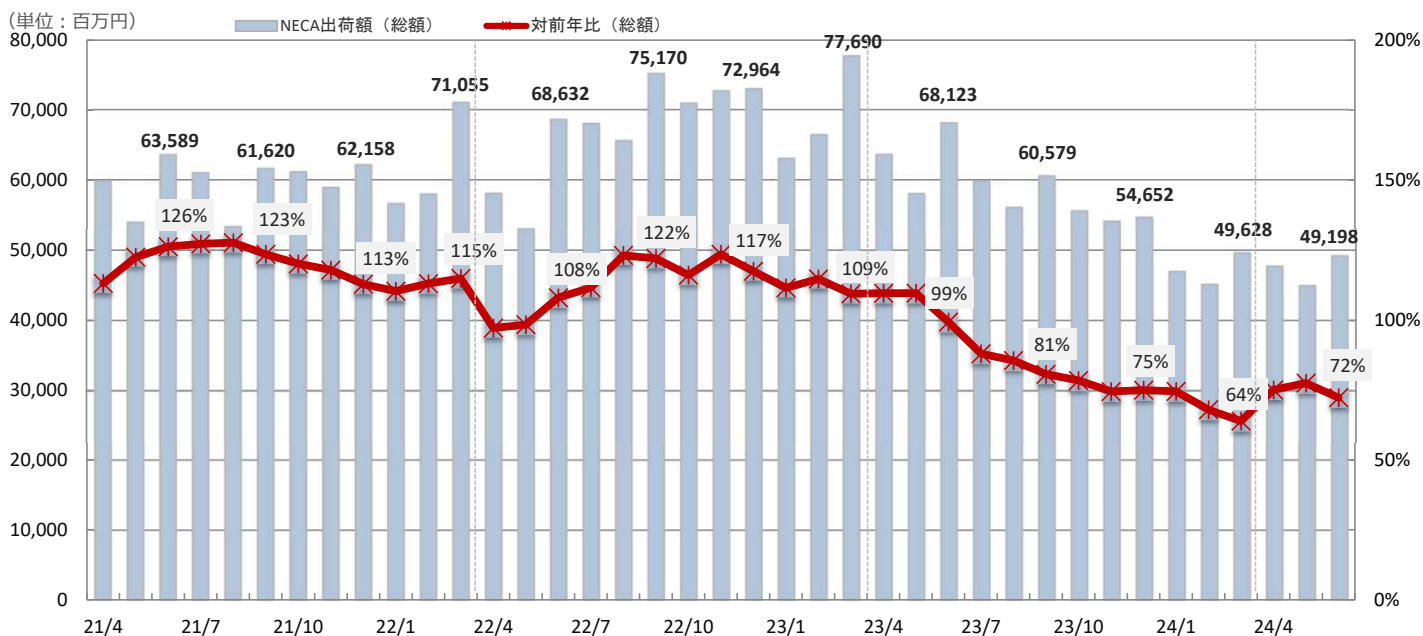
統合報告書でもご紹介しております、ESGに関する継続的な取り組みをご評価いただき、こちらに記載しているような各種インデックスにも組み入れられております。

今後も、継続的な取り組みを推進することで、企業価値の向上を図ってまいります。

## 參考資料

通貨	1Q実績	1円変動による影響額 ※人民元は0.1円変動の影響額	
		売上高	営業利益
米ドル	155.86円	約50百万円	約5百万円
ユーロ	167.84円	約130百万円	約10百万円
人民元	21.47円	約30百万円	約20百万円

## 21年4月～24年6月の業界出荷額推移と対前年比の状況



# 製品別売上区分



HMI	インダストリアル コンポーネツ	オートメーション& センシング	安全・防爆	システム	その他
<ul style="list-style-type: none"> <li>・制御用操作スイッチ</li> <li>・ジョイスティック</li> <li>・表示灯</li> <li>・プログラマブル表示器</li> </ul>  <p><b>APEM製品</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スイッチング電源</li> <li>・端子台</li> <li>・制御用リレー/ソケット</li> <li>・サーキットブレーカ</li> <li>・産業用LED照明</li> </ul> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・プログラマブルコントローラ</li> <li>・センサ</li> <li>・自動認識機器</li> </ul> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・安全関連機器</li> <li>・防爆関連機器</li> </ul> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・協働ロボットシステム</li> <li>・表示器複合システム</li> <li>・セキュリティシステム</li> <li>・その他各種システム</li> </ul> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境・エネルギー関連事業</li> </ul> 

この資料には一部当社の計画や業績予想が含まれていますが、それらの計画や予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき当社が計画、予想したものです。

従って、実際の業績などは、今後さまざまな要因によって計画、予想数値と異なる結果となる可能性があります。

IDEC株式会社  
経営戦略企画本部  
TEL : 06-6398-2505  
FAX : 06-6398-2587  
E-mail : yasuyuki.ogawa@idec.com

